

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第5期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	サントリー食品インターナショナル株式会社
【英訳名】	Suntory Beverage & Food Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鳥井 信宏
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋三丁目1番1号
【電話番号】	03(3275)7022
【事務連絡者氏名】	専務取締役 経営企画本部長 肥塚 眞一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋三丁目1番1号
【電話番号】	03(3275)7022
【事務連絡者氏名】	専務取締役 経営企画本部長 肥塚 眞一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第5期 第2四半期 連結累計期間	第4期
会計期間	自平成25年1月1日 至平成25年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高(百万円)	517,969	992,160
経常利益(百万円)	25,164	54,033
四半期(当期)純利益(百万円)	11,991	23,385
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	47,229	61,799
純資産額(百万円)	249,948	204,275
総資産額(百万円)	995,771	844,450
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	55.52	108.27
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	22.1	22.5
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	33,267	85,830
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	39,032	75,874
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	15,271	15,249
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	38,363	26,061

回次	第5期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	42.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 当社は、第4期第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第4期第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
5. 平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しています。

2【事業の内容】

[国内セグメント]

当第2四半期連結累計期間において、自動販売機チャンネルで清涼飲料の販売を担当していた北海道ペプシコーラ販売(株)、東北ペプシコーラ販売(株)、日本ペプシコーラ販売(株)、中部ペプシコーラ販売(株)、近畿中四国ペプシコーラ販売(株)、南九州ペプシコーラ販売(株)が、4月1日付で日本ペプシコーラ販売(株)を存続会社として吸収合併し、同日付で商号をサントリービバレッジサービス(株)に変更しました。

[国際セグメント]

当社グループは、当第2四半期連結累計期間においてベトナムにおける清涼飲料の製造・販売事業に進出しました。これに伴い、4月に、PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANYが子会社に加わりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、平成25年5月29日提出の有価証券届出書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間より金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との数値比較を記載していません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日）における世界経済は、欧州債務問題等による景気の下振れリスクの懸念があるものの、緩やかな回復傾向が継続し、底堅さも見られました。わが国経済においても、円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られる等、今後の景気回復に向けた期待が高まりつつあります。

このような状況の中、当社グループは収益性向上に向けた施策を進めました。国内セグメントでは引き続き、重点ブランドの強化と販売促進活動の推進により、事業規模の更なる拡大と収益力強化に取り組みました。国際セグメントでは各国での重点ブランドの育成やグループシナジーの強化等に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,180億円、営業利益は276億円、経常利益は252億円、四半期純利益は120億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[国内セグメント]

国内セグメントでは、重点ブランドの強化を軸に、消費者の嗜好変化に対応するための新商品の発売、ブランド横断型の消費者キャンペーンによる小容量サイズ商品の販売活動強化等、需要の拡大を図りました。

「BOSS」は、主力商品（「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」）を中心に店頭でのマーケティング活動を強化し、前年割れと推定される缶コーヒー市場の中で、当社グループは前年並の販売数量となりました。

「伊右衛門」ブランドは、「伊右衛門」と「贅沢冷茶」の2本柱が好調で、消費者キャンペーンやTV-CMと連動した積極的なマーケティング活動を展開し、販売数量が大幅に増加しました。

「サントリーウーロン茶」は、スーパーマーケットと協働した販売促進活動や新TV-CMの放映等により、前年並みの販売数量となりました。

「サントリー天然水」は、植物由来原料を30%使用した国産最軽量¹（11.3g）ペットボトルを採用²したりリニューアルで同商品が持つ価値を高め、コミュニケーションメッセージを一新する等、ブランド力の強化により店頭での販売促進を図った結果、販売数量を大きく伸ばしました。

¹ 国産ミネラルウォーターペットボトル(500ml～600ml)対象 平成25年8月6日現在

² 自動販売機対応商品を除く550ml商品

「PEPSI」は、「ペプシネックス」のリニューアルを行いました。また、特定保健用食品「ペプシ スペシャル」の販売増が寄与し、販売数量が大幅に伸長しました。

果汁入り炭酸飲料「オレンジーナ」も堅調に推移し、機能性飲料「GREEN DA・KA・RA」は熱中症対策飲料として機能性飲料市場の拡大に貢献する等、売上増に大きく寄与しました。

自動販売機事業においては、同事業を担う子会社を4月に経営統合し発足したサントリービバレッジサービス(株)が、経営の効率化にむけ、基盤強化を図りました。

上記活動により売上の増大を図ると同時に、製造原価及び物流費等のコスト革新を行い、更なる収益性向上に取り組みました。

これらの結果、国内セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおりとなりました。

国内セグメント売上高	3,315億円
国内セグメント利益	169億円

[国際セグメント]

国際セグメントでは、欧州、オセアニア、アジア、米州において、競争が一層激化する等、厳しい環境の中、各エリアでの重点ブランドの強化等に取り組みました。

欧州では、厳しい経済環境と天候不順が続く状況下で、強い事業基盤をもつオランジーナ・シュウェップス・グループが、重点ブランドの育成・強化のためのマーケティング活動に重点的に取り組みました。

オセアニアでは、フルコア・グループが、重点ブランドであるエナジードリンク「V」の販売促進の強化に取り組みました。また、ニュージーランドにおける「PEPSI」ブランドの販売が引き続き好調に推移する等、フルコア・グループ全体で販売数量を伸ばしました。

アジアでは、健康食品・加工食品を製造・販売するセレボス・グループが、タイにおける健康食品販売を中心に堅調に推移しました。サントリーガルーダ・グループでは、「Okky」等が牽引し、昨年に発売したサントリーブランドの緑茶飲料「みらい」も売上増に寄与しました。また、ベトナムにおいては、4月にPepsiCo, Inc.との合弁会社が飲料事業を開始し、着実に事業を拡大しました。

米州では、Pepsi Bottling Ventures LLCが、販売チャネル別価格戦略の最適化等に取り組んだ結果、ノースカロライナ州を中心に底固い業況を堅持しています。

また、フルコア・グループでのペットボトル内製化を含む生産設備の更新等、国内で培った研究開発技術や製造原価及び物流費等のコスト改善のノウハウを海外へ展開し、グループシナジーの強化による品質向上及び収益力強化に取り組みました。

これらの結果、国際セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおりとなりました。

国際セグメント売上高	1,865億円
国際セグメント利益	222億円

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、384億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益256億円、減価償却費211億円等により、資金の収入は333億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出262億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出122億円等により、資金の支出は390億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入262億円、長期借入れによる収入548億円、長期借入金の返済による支出513億円等により、資金の収入は153億円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、31億円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANYを子会社化したことに伴う主要な設備の増加は次のとおりです。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (人)	
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬 具	工具、器 具及び備 品	土地 (面積㎡)	その他		合計
PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANY	本社他 (ベトナム ホーチミン 他)	国際	食品製造設備 その他設備	4,541	12,909	101	2,119 (317,991)	1,937	21,608	2,254

- (注) 1. 金額には消費税等は含まれていません。
 2. 各事業所には、事務所、倉庫等を含んでいます。
 3. 帳簿価額には、建設仮勘定は含まれていません。
 4. 現在休止中の主要な設備はありません。

前連結会計年度末において計画中だった主要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりです。

事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	金額 (百万円)	完了年月
Pepsi Bottling Ventures LLC Raleigh Eastern倉庫	米国 ノースカロライナ州	国際	物流倉庫設備	1,264	平成25年3月

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりです。

事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内 容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
サントリー プロダクツ(株) 高砂工場	兵庫県高砂市	国内	製造設備	3,710	-	自己資金	平成25年11月	平成26年5月	(注) 2

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
 2. 完成後の清涼飲料生産能力は、1,100万ケース/年です。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	480,000,000
計	480,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	216,000,000	309,000,000	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	216,000,000	309,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成25年4月16日 (注)1	215,568,000	216,000,000	-	30,000	-	7,500

(注)1.平成25年4月16日付で実施した、普通株式1株を500株に分割する株式分割によるものです。

2.平成25年7月2日を払込期日とする国内における有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)並びに欧州及び米国を中心とする海外市場(ただし、米国においては米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとする。)における募集により、発行済株式総数が93,000千株、資本金及び資本準備金がそれぞれ138,384百万円増加しています。なお、当該募集における発行価格は3,100円、引受価額は2,976円、資本組入額は1,488円です。

(6)【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サントリーホールディングス株式会社	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	216,000,000	100.00
計	-	216,000,000	100.00

(注)サントリーホールディングス株式会社から、平成25年7月10日付大量保有報告書及び当該大量保有報告書に関する平成25年8月6日付変更報告書の写しの送付があり、平成25年7月30日現在で183,800,000株(株券等保有割合59.48%)を保有している旨の報告を受けています。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 216,000,000	2,160,000	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	216,000,000	-	-
総株主の議決権	-	2,160,000	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

3．最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当四半期報告書は「企業内容等開示ガイドライン24の4の7-6」の規定に準じて前年同四半期との対比は行っていません。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,069	38,382
受取手形及び売掛金	114,470	148,872
商品及び製品	27,731	41,633
仕掛品	2,402	2,452
原材料及び貯蔵品	14,621	20,650
その他	33,988	45,811
貸倒引当金	389	388
流動資産合計	218,895	297,414
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	83,993	101,565
その他	151,345	169,438
有形固定資産合計	235,338	271,004
無形固定資産		
のれん	349,929	370,323
その他	10,205	21,769
無形固定資産合計	360,135	392,092
投資その他の資産		
投資有価証券	15,781	17,072
その他	14,996	18,646
貸倒引当金	797	700
投資その他の資産合計	29,981	35,018
固定資産合計	625,455	698,115
繰延資産	99	241
資産合計	844,450	995,771
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,465	114,382
電子記録債務	14,663	17,485
短期借入金	311,214	219,205
未払法人税等	5,103	12,455
賞与引当金	1,828	2,178
リース債務	1,644	1,591
その他	109,265	135,938
流動負債合計	537,186	503,236
固定負債		
長期借入金	30,483	162,402
退職給付引当金	6,815	6,418
役員退職慰労引当金	32	24
リース債務	3,247	2,962
その他	62,410	70,777
固定負債合計	102,988	242,586
負債合計	640,174	745,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	54,395	54,395
利益剰余金	122,609	121,886
株主資本合計	207,004	206,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	744
繰延ヘッジ損益	435	343
為替換算調整勘定	17,521	13,041
その他の包括利益累計額合計	16,656	14,129
少数株主持分	13,927	29,537
純資産合計	204,275	249,948
負債純資産合計	844,450	995,771

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)
売上高	517,969
売上原価	229,745
売上総利益	288,223
販売費及び一般管理費	260,599
営業利益	27,623
営業外収益	
受取利息	155
持分法による投資利益	280
その他	474
営業外収益合計	911
営業外費用	
支払利息	2,467
為替差損	731
その他	171
営業外費用合計	3,370
経常利益	25,164
特別利益	
受取保険金	1,051
組織再編益	2,319
その他	37
特別利益合計	3,408
特別損失	
固定資産廃棄損	1,117
組織再編関連費用	1,755
その他	103
特別損失合計	2,976
税金等調整前四半期純利益	25,595
法人税等	11,288
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307
少数株主利益	2,315
四半期純利益	11,991

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	314
繰延ヘッジ損益	91
為替換算調整勘定	32,054
持分法適用会社に対する持分相当額	645
その他の包括利益合計	32,922
四半期包括利益	47,229
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	42,777
少数株主に係る四半期包括利益	4,452

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	25,595
減価償却費	21,087
のれん償却額	11,422
受取利息及び受取配当金	251
支払利息	2,467
固定資産廃棄損	1,117
売上債権の増減額(は増加)	28,500
たな卸資産の増減額(は増加)	13,092
仕入債務の増減額(は減少)	11,807
その他	12,754
小計	44,407
利息及び配当金の受取額	376
利息の支払額	1,887
法人税等の支払額	9,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	26,232
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	12,209
その他	590
投資活動によるキャッシュ・フロー	39,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(は減少)	26,155
長期借入れによる収入	54,785
長期借入金の返済による支出	51,284
リース債務の返済による支出	822
配当金の支払額	12,915
少数株主への配当金の支払額	647
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,796
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	12,302
現金及び現金同等物の期首残高	26,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,363

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、㈱サンベンドは連結財務諸表に及ぼす重要性が増したため、連結の範囲に含めています。

当第2四半期連結会計期間において、PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANY等は、株式の新規取得により連結子会社となったため、連結の範囲に含めています。また、北海道ペプシコーラ販売㈱、東北ペプシコーラ販売㈱、中部ペプシコーラ販売㈱、近畿中四国ペプシコーラ販売㈱及び南九州ペプシコーラ販売㈱は、日本ペプシコーラ販売㈱（現、サントリービバレッジサービス㈱）と合併したため、連結の範囲から除外しています。

【注記事項】

（四半期連結損益計算書関係）

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
販売促進費及び手数料	123,169百万円
広告宣伝費	23,628
運搬費及び保管費	18,424
労務費	37,679
減価償却費	13,680
のれん償却額	11,422

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	38,382百万円
預入期間が6ヶ月を超える定期預金	18
現金及び現金同等物	38,363

（株主資本等関係）

当第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年6月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月29日 定時株主総会	普通株式	12,915	29,896.50	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	国際 (注)4			
売上高					
外部顧客への売上高	331,483	186,485	517,969	-	517,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	510	510	510	-
計	331,483	186,996	518,480	510	517,969
セグメント利益(注)3	16,882	22,163	39,046	11,422	27,623

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	16,882	22,163	39,046
減価償却費	14,608	6,479	21,087
EBITDA	31,490	28,642	60,133

EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメント売上高、利益及びEBITDAの内訳

国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	74,097	19,656	56,548	36,183	186,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	510	-	-	-	510
計	74,608	19,656	56,548	36,183	186,996
セグメント利益	11,531	2,344	4,707	3,579	22,163
減価償却費	2,225	570	2,248	1,433	6,479
EBITDA	13,757	2,915	6,955	5,013	28,642

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりです。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	55.52円
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(百万円)	11,991
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	11,991
普通株式の期中平均株式数(株)	216,000,000

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行及び株式の売出し)

当社は、平成25年7月3日に東京証券取引所市場第一部に上場しました。当社は、上場にあたり平成25年5月29日及び平成25年6月17日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を決議し、平成25年7月2日に払込が完了しました。

この結果、資本金は168,384百万円、発行済株式総数は309,000,000株となっています。

1. 公募による新株式の発行

(1) 募集方法

国内募集	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
海外募集	欧州及び米国を中心とする海外市場(ただし、米国においては米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとする。)における募集

(2) 発行する株式の種類と数

国内募集	普通株式 33,500,000株
海外募集	普通株式 59,500,000株

(3) 発行価格 1株につき3,100円

(4) 引受価額 1株につき2,976円

この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額です。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

(5) 払込金額 1株につき2,550円

この金額は、会社法上の払込金額であり、平成25年6月17日開催の取締役会において決定された金額です。

(6) 資本組入額 1株につき1,488円

(7) 発行価格の総額 288,300百万円

(8) 引受価額の総額 276,768百万円

(9) 払込金額の総額 237,150百万円

(10) 資本組入額の総額 138,384百万円

(11) 払込期日 平成25年7月2日

(12) 資金の使途 過去に実施した企業買収・事業買収を目的として借入れた金融機関からの短期借入金の返済に充当する予定です。また、当社グループの事業成長を目的とした国内外における戦略投資に充当する予定です。

2. 当社株式の売出し(引受人の買取引受けによる国内売出し)

(1) 売出し株式の種類及び数 普通株式 26,000,000株

(2) 売出人 サントリーホールディングス(株)

(3) 売出方法 野村證券(株)および三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)を引受人とし、引受人の買取引受けにより売出しを行う。

(4) 売出価格 1株につき3,100円

(5) 引受価額 1株につき2,976円

(6) 売出価格の総額 80,600百万円

(7) 引受価額の総額 77,376百万円

(8) 受渡期日 平成25年7月3日

3. 当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

(1) 売出し株式の種類及び数 普通株式 6,200,000株

(2) 売出人 野村證券(株)

(3) 売出方法 国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しとは別に、その需要状況等を勘案した上で、売出人が、当社株主であるサントリーホールディングス(株)より借入れる当社株式の売出しを行う。

(4) 売出価格 1株につき3,100円

(5) 売出価格の総額 19,220百万円

(6) 受渡期日 平成25年7月3日

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

サントリー食品インターナショナル株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	東 誠 一 郎 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	川 崎 洋 文 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平 田 英 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサントリー食品インターナショナル株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サントリー食品インターナショナル株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、上場にあたり平成25年5月29日及び平成25年6月17日開催の取締役会において、新株式の発行を決議し、平成25年7月2日に払込が完了した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。